

特別賞(景観デザイン賞)

都市計画道路 安浦下浦線街路整備事業

(表彰対象者：神奈川県横須賀土木事務所)

表彰の理由

本地区は、衣笠断層を通過する等地形地質的にも困難があつたが、これを克服した。また、もたれ擁壁部や深礎工部においては、表面修景を施すことにより、周辺環境との調和に配慮しており、デザイン的にも優れていることなどが評価された。

事業のあらまし

都市計画道路安浦下浦線は、横須賀市の放射状道路として計画決定された路線であり、市中心部と三浦市域とを結び、また一般有料道路横浜横須賀道路のアクセス道路として主要な幹線道路である。

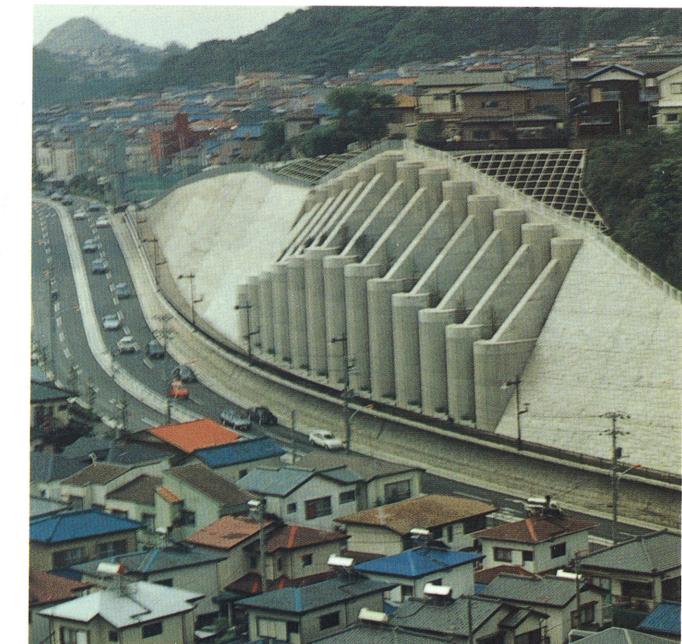
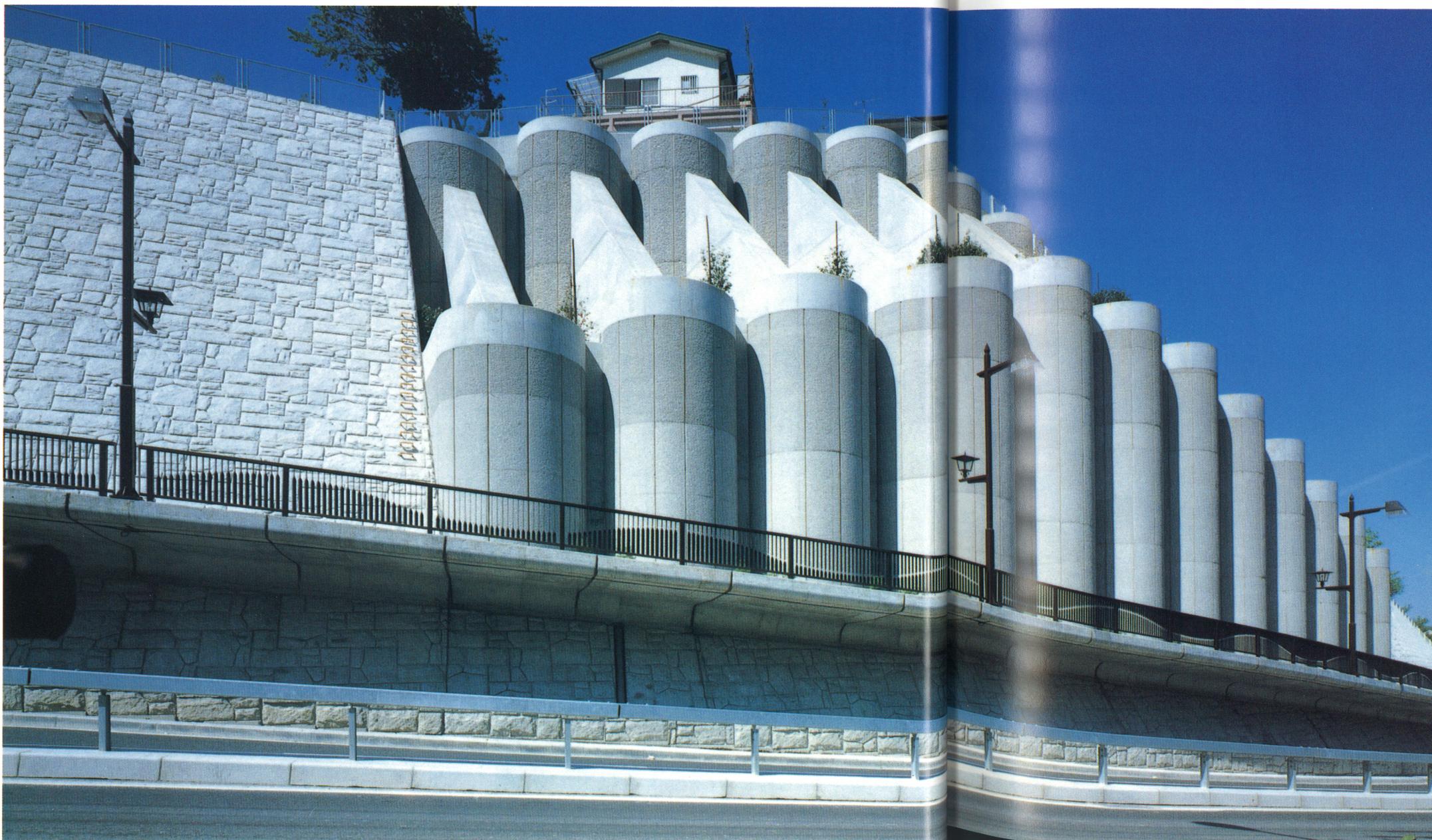
受賞区間は、二車線の現道を斜面側に拡幅し四車線とするものであるが、斜面頂部は法肩まで住宅が建っている大規模な住宅地であり、それらに影響を与えることなく法切りを行なうため深礎擁壁とアンカー併用もたれ擁壁により拡幅を行つたものである。

- 延長：300m
- 幅員：22m
- 事業費：1,920百万円
- 事業実施期間：昭和61年4月～平成2年3月

深礎擁壁の表面をビシャン仕上げにより処理することにより、巨大な構造物にありがちな威圧感を和らげている。



道路幅員を確保するため歩道を張り出し構造とし、また円形型枠を用いることにより構造物の威圧感を和らげている。



地形及び周辺環境等の悪条件を克服し、環境と構造物との一体化を考慮したデザインとなっている。

事業遂行上の工夫

地質は活断層が区間中央部を走り、その周辺は極度に風化された脆弱な泥岩であるため、深礎杭はラーメン構造とし杭頭の変位を抑えた。また、アンカー併用擁壁については施工中の崩落を防ぐため逆巻工法を用いた。大規模な構造物となり威圧感があるため、それを和らげるデザインを種々検討し、写真の様なものとした。